

イートンだよ!

2020年1月4日発行

新春のお慶びを申し上げます。
新しい1年が皆様にとって笑顔溢れる年になりますようお願い申し上げます。
さて、今年度も残すところあと3ヶ月となりました。
子どもたちが経験をしたことを生かし、主体性や社会性を身につけていけるよう
また、子どもたちの思いをしっかりと受け止め、充実した時間が過ごしていけるよう
に保育していきたいと思えます。
新しい年を子どもたちに負けずに一緒に成長していけるよう職員一同がんばりたい
と思えます。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

「かるたはポルトガルうまれ？」

新年を迎え、みなさんのお家でもかるたあそびを楽しんだでしょうか?
かるたの語源はポルトガル語で16世紀半ばの室町時代に伝わってきました。
しかし、日本にはもっと昔から似たような遊びがありました。それは「貝合わせ」
といって貝殻の内側に描かれた絵や和歌を合わせるという遊びです。
東西の遊びが融合して今のかるたになりました。
かるた遊びは言語力、記憶力、反射神経、適度な競争力、そしてコミュニケーション力と
様々な能力が磨かれています。すなわち「かるた」は最強の知育玩具とも言われて
います。小さい年齢の子どもは「貝合わせ」ならぬ「絵合わせかるた」としても遊べ
ます。是非、ご家庭でもお子さんと一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか?



お知らせ・お願い

- 年度末に絵画等の作品を持ち帰るにあたり、全園児作品袋を購入します。価格は300円となり、1月27日に引き落としとなります。
- 3月21日(土)の卒園式は、あじさい組兄弟関係のみの保育となります。全職員で卒園児を見送りたいと思えます。
- 1月よりたんぼぼ組以上クラスは水筒にお茶を入れ毎日持って来てください。お茶の量は各ご家庭で調節してください。

ちゅうりっぷ組

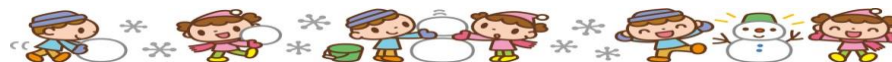


寒さにも負けず元気いっぱいの子ゅうりっぷ組さん。靴下を履いたり、帽子を被ると、園庭に出ることがわかり早く出たいとばかりにドアの方に集まり指差しや、何やらお話をしはじめ子どもたち。戸外では手押し車を押ししたり、好きな玩具を見つけて遊んだり、また異年齢のお友だちと関わりながら遊び、頭をなでられると嬉しそうにしています。出来ることも増えてきており、オマルに座っての排泄に成功したり、歩行ができるようになり階段の上り下りをしてみたり、12月には餅つき会にも参加しました。人数の多さと迫力に少し戸惑いながらも保育士の膝に座り「よいしょ。」のかけ声に手をたたいて、しっかりと座ってみることができていました。これからの成長が本当に楽しみです。
※保育室は床暖房やエアコンで温度調節をしています。暖かいので裏起毛のトレーナーやズボン避け、体温調節してくれる肌着の着用と衣類の補充をお願いします。

ばら組

ばら組の生活も残すところあと3ヶ月になりました。寒さにも負けず元気いっぱいのばら組さん。外に出る時には自分で制服に腕を通そうとしたりボタンを持ち穴に入れようとしていたり、頑張っって着ようとする姿が増えてきました。難しい時には「先生、して。」や「手伝って。」と言葉で伝えてくれるので、一緒にお手伝いをしながら仕方を伝えています。できた時には「できた!」「見て!」と笑顔で見せてくれる姿がとても可愛いです。

12月頃より、園庭に出て曲をかけながら保育士と一緒にマラソンをしてしっかりと体を動かして遊んでいます。周りの友だちに「おいでー!」と声をかけて一緒に走って楽しむ姿が見られます。



<さくら1組>

寒い日が続きますが、元気いっぱいのさくら1組さんです。「今日はお外で遊ぶよ」とお話をすると「やったー」と大喜びです。戸外ではかけっこやマラソン、しっぽ取りなどで走りまわり、しっかりとからだを動かして遊んでいます。また、友だちに「がんばれー」と応援をしたり、「おもしろかったね」「もう一回やろう」と友だち同士でおしゃべりを楽しむ様子も見られます。今月も戸外でしっかりと体を動かして遊んだり、お正月ならではの遊び（凧揚げ、福笑い、羽根つき、コマ回し、かるたなど）も楽しんでいきたいと思えます

<さくら2組>

すっかり寒くなりましたが、天気の良い日は園庭に出て三輪車に乗ったりおかけっこをしたりと、元気いっぱいなさくら2組さん。部屋の中ではパズルやみつけなどに集中して取り組んで遊んでいます。お友だちの間では「一緒に遊ぼう」「いいよ」とやり取りをして同じ遊びを楽しんだり、喧嘩してしまった際は「ごめんね」「いいよ」と仲直りができたりしています。友だち同士の関わりがだんだん深くなってきています。

<さくら3組>

12月に入り戸外に出る際、セーラー服の袖に手を通そうとしたりボタンを留めようとして自分で頑張って準備をしている3組さんです。戸外から帰ってきたら手洗いに加えてガラガラうがいを始めました。「上手にできたよ」と嬉しそうに言ったり、「お水は半分だよ」と友だちに教えてあげたりとお友だちとのやり取りも見られるようになってきています。



<たんぽぽ1組>

最初は甘えん坊で恥ずかしがり屋だった子どもたちも日々の生活の色々な経験を通して、今では少しお兄ちゃん、お姉ちゃんになったように感じます。たんぽぽ組も残り3ヶ月になりましたが、正しい生活習慣を身に付けていきながら、楽しい毎日を送っていききたいと思えます。また、進級に向けて保護者の方に園での様子をお知らせしていきながら、たくさんお話ができたと思っています。

<たんぽぽ2組>

身の回りのことが最後までできるようになったり、友だちに言葉で伝えられるようになったりできなかったことが沢山できるようになり嬉しく思っています。今年もたんぽぽ2組の様々な成長に出会えることが楽しみです。まだまだ寒い日は続きますが、この季節ならではの正月遊びを取り入れながら、寒さに負けないように戸外でしっかりと遊んでいきたいと思えます。残り3か月、日々大切にしながら子どもたちと過ごしていきたいと思えます。



<たんぽぽ3組>

早いもので9か月が過ぎ、このクラスで過ごすのも残り3か月となりました。この9か月で心も体も大きくなり、出来ることもたくさん増えました。最近では友だちと協力してお手伝いをしてくれたり、ひらがなや漢字を読んだり日々の日課活動の成果を感じています。残りの貴重な時間を大切にしながら、すみれ組への進級に向けて最後まで明るく楽しみながら過ごしていきたいと思えます。

<すみれ1組>

日々の生活の中で、自分たちで考え、見通しを持って行動することができるようになってきています。保育士が声をかけなくても自分たちで今何をするのかを考えたり、声をかけあったりして、生活を進めようとしている姿が見られます。また、友だちと関わり、遊ぶ中で意見の食い違いからトラブルになることもあります。お互いに折り合いをつけて解決しようとする姿も少しずつ増えてきました。すみれ組での生活も残り3か月となりました。年長に向け、日々を楽しむ中で、身の回りのことを自分でしたり、友だちに自分の思いを伝えたり、相手の話に耳を傾けたり…。生活の中で必要な力を身につけて、自信を増やしながら年長組への期待を膨らませていきたいです。

<すみれ2組>

クラスが居心地の良い場所になってきた子どもたちは自分の気持ちを素直に表現できるようになってきました。そのためトラブルもありますが、相手の気持ちにふれ、様々な思いを感じ取っているようです。残り3か月ますます成長する子どもたちを見守っていききたいと思えます。

今月はお正月を機に投げコマやけん玉、福笑いやかかるた、たこ揚げなどの伝承遊びを楽しもうと思っています。



あじさい組



保育園での生活も残り3か月となりました。子どもたちは就学に向けていろいろなことに挑戦しています。「いちねんせいのおいちにち」という絵本を読んだ時のこと。小学校での授業のこと、掃除のこと、休憩時間や給食時間のことが書いてあり「掃除は自分ですか?」「授業がいっぱいあるんだ」「給食おいしいかな?」と子どもたちの声があちこちから聞こえてきました。それと同時に小学校への期待感も高まったようで「楽しみ」とわくわくした気持ちも見られました。あじさい組になり、雑巾がけや給食準備など当番活動を頑張っている子どもたちですが、絵本を見てから机拭きや部屋の掃除（ほうきで掃く、雑巾がけ）を始めました。初めはほうき、ちりとりを使い方が難しく、なかなか思うようにごみが集まらなくて「難しい」「どうやって持つの?」と苦戦していましたが、毎日のくり返しの中で少しずつ上手に使えるようになってきています。友だち同士で「ここにもごみがあるよ」「きれいになってきたね」と声をかけ合う姿も増えてきています。掃除の仕方も子どもたちと確認し、役割分担を決め、机を拭く→机といすを廊下に出す→ほうきで掃く→雑巾がけをするという流れが定着しつつあります。自分たちでする大変さを感じつつ、きれいになる嬉しさや気持ちよさを味わうことができ、みんな最後まで一生懸命掃除をする姿が見られています。自分たちでできることを任せたり、見守ったりしながら、主体的に生活を進めていくことができるようにしていきたいです。卒園までの残り少ない時間を子どもたちと楽しく過ごしていけるよう、楽しいことやおもしろいことを見つけて思い出をたくさん作っていききたいと思えます。今年もよろしくお祈りします。